



青南だより

平成30年11月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜憧れの存在を見て育つ＞

運動会はどの学年にとっても、大きな節目となる行事です。特に下の学年の子どもたちは、自分たちにはちょっと難しい動きをカッコよくする先輩たちの動きを憧れのまなざしで見つめ、まねしてみたい気持ちが沸き上がっていきます。運動会後は、教師もその思いを実現しやすい状況や環境づくりに配慮していきます。忍者の曲が流れると、お面を借りた年少児は、すっかり忍者になりきって、自分たちの新しい遊びとして憧れの忍者の踊りも楽しんでいます。



忍者のダンスを年中から教わって踊る年少児

＜自分たちの姿を再確認する＞

年中児は、年長児が演じたバルーンを体験させてもらいました。ずっと見ていたバルーンを年長児に混ぜて持たせてもらいました。特に、中に入ったときの喜びようは格別でした。半分ずつに分かれて、外からその様子を見た年長児は、仲間が年中児と一緒にする姿を見ることで、自分たちがしていた動きを客観的に確認することができ、改めて自信がもてたようでした。好きな遊びでも、仲間を集めてエンドレスリレーを楽しむ姿もあり、年中児が加わって走る姿も見られます。



初めてのバルーン、本当にテントの中みたい！

＜豊かな園庭環境をさらに生かす工夫＞

園内研で運動遊びについてご指導いただきました。その中で、青南幼稚園の園庭環境がとても優れていることを再確認することができました。その上で、体を動かすエリアと落ち着いてごっこ遊び等に集中できるエリアとを棲み分けしていけるように、笹竹で囲われた場は適度に残しつつ、一部を剪定してスペースを増やす改善もしていきます。時間差を付けて広々とした空間で遊べる時間を保障したり、一緒に過ごすことで刺激をし合ったりすることで園庭での遊びがより豊かになっていきます。



広々した農園で大きな芋がたくさん掘れました



大きなお芋、絵の具で描いてみよう！

青南の 二十四節気

・・・霜月（しもつき）・・・

立冬（7日）… 裏庭の柿がおいしそうです …

小雪（22日）… 紅葉も朱色に変わり始めるでしょうか …

園庭のシンボルツリーのかえでは今年はどう色付くのでしょうか？砂場の上のザクロがようやく割れ始め、きれいな種が見えてきました。裏庭にある柿の木も、たわわに実を付けています。今年は工事中なので、子どもたちと採ることはできませんが、ザクロと合わせて、子どもたちも、保護者の皆さんにも味わってもらえるようにしたいと思います。そろそろ園児募集の時期です。素晴らしい環境に恵まれた青南幼稚園の魅力をぜひ皆さんからも発信していただければ幸いです。



笹竹付近はじっくり遊べるエリアとして活用中